の行政機術の大弘章並に羈め焼きに伴い内栁部と舒松部が織り、それが、地方行政の大改造を行ふ地様で、これがため、違くとも明年九月頃には人事の大異動が行けれた。社会事業の職充端化に乗り出すことになり、同時に本有幹押局内に有に認定認ら設け、半島制空面改の場化を賦行する方畝である。これによつて各進監でも本府内新に、財・生局でを設けることに内・定した。、原生局長には悪任官を配き、その下に自押局並育場、難抑局強無機、原抑局並育場育総を加へ、社会體育の向 機構の大改革を断行することになつたが、さらに南総督は大野政務總監と慎重協議の結果、明本度より本府内に信養に選べ、明年度から本所性に簡単の如きる語言の業能、夕光音の中で、異年年とより発言でも異する。 明年度から本府内に既最の如き企畫部の新設、外務部の協充、羅律特別都市建設等の週期的行時下に対象くタローズアクブ・ヒニ朝館では草民一教上、曹世和人の重要位命飛行に報じて報節の観を概行していが、總督府ではこの

## 等回豪語は空宣傳 南下廣東軍全く戦意失ふ

那一流の宣傳にすぎないものの如く各殿線を通じ環東軍は完全に戦意を失つてゐるたとにはと、なほ數日來友那側では「髭んに孝宗仁、自崇禧の南下を放送してゐるも、廣東軍は九日韶關附近に到着 北江に清うて南下中であるが、『芳典』與灣明年は崇 稗・

の命且夕に近り長池駅街の館域「方面から、平江、長沙方面に向け」(15年の港の電差部域では、青田「さず〇〇の大株域を以て養晴の空〇〇岳地十月同盟」通統持り原「は意々船庁に関したが、武城修水」城大部隊兼郷中との俳に拠した(一計局、田中、下特を部域が昨を称

な口あげ不確を喰って近路上にへいてぬるのを養え、先つこれとの

四年、武漢攻略城に取っしき四

(歌・走漢双節版に取らしき海・ 階段上には音順を称くせせられ、御するもつに投 く 我就に御・ 兄を即妻が差 ごっれた。午前下(のするもつに投 く 我就に御・ 兄を即妻が差 ごっれた。午前に

江南戰線を御視察

長沙増援隊を虱潰し爆滅

要議議院州上港に成りせられ数を厳敬をも順はせられず、離の重 い皇軍の追撃戦を御職務、更に一連建員面の配線における目覚し

一般を覚醒した、中央はこれに對し 一般を覚醒した、中央はこれに對し 大方何等正式回答を發してゐない。 路軍副司令余漢縣は、腹果作戦失 の急進撃に一敗血にまべれた第四【香港上一日叫盟】我が南友作職 失って長沙の顔陣はその等館 廣東敗退の音

の全連駅に縦に我が南下部隊の側 のの重要職員とではた東大映戦。早くと自動車或は後歩により報々を加へつくある。1万かかる我軍「平江方面へ控遣を開始したり報々を放し制治に進入陸に同省北、同方面の艦東は退路艦隊系記れて 溯航部隊猛進擊

岳州突入の機を窺ふ

食において正式に取上さられてま

R 飲食の物情報を突破しつく虎神虻 江岸の鉱重塑維監強剤を攻撃更に 変上減自甘油の線に漁出九日朝来 照開始後低に五日にして早くも武盟] 帝國海軍開航部隊の本権的並

總裁候補放棄

「『表面化し去る四日翻時代行孫員」がこの疑成業を得るに至ったので「本商々選作群(優穣)を改立し来「漁駅の英島長有道が要領により再 (粉局間において立案を進めてみた ) 五配より現物員賞を行はしめて日 過級の支部是有害の要望により再【東京電話】政友官の課題問題は を表明(鳩山氏)

けふの閣議で决定

の称、総直、拓が各省及び對請罪 本光朝、頭鮮鄭敏、、大連內腊の ので新育社の定人会に大智奨的目の称、総直、拓が各省及び對請罪 本光朝 三式決定を見た、右梁の大 より連絡する支続をもつて目清理目的とする日本海安通整備の機定 を附属正式決定を見た、右梁の大 より連絡する支続をもつて目清理目的とする日本海安通整備の機定 を附属正式決定を見た、右梁の大 より連絡する支続をもつて目清理目的とする日本海安通整備の機定 を附属正式決定を見た、右梁の大 より連絡する支続をもつて目清理目的とする日本海安通整備の機能と対象に対していませた。 本代船、編修郷船、、大連汽船の ので荷育社の近本金に大党県的川 銀は日本海代船、北陽汽船、北日 続の駅間県代ごはからんとするも を関語正式決定を見た、右梁の大 より連着する支継をもつて日前連

二依ル「カプレ」 「、初期盲腸炎及び白毛染・減一、初期盲腸炎及び白毛染・減

一、出血性疾患

殊二各型紫斑病及貧血

北鮮港の利用促進のための貨 まり脚本ばかりお題み近江してい

後香港へ入港する豫定を傳へられる「四次の第一次航海は十一日朔廣東發同午石油輸送のため香港廣東間を往復すること、なり、その第一次航海は十一日朔廣東發同午四次メンダード石油輸送時は米海軍常局諒解の下に軍艦の資格で海軍や人を乗組員にあて、香港特電『十日號』線15年801級航廠網行196日まだ前5万でないに共にりず、九日夜春館に遠した原発製料によれて米香港特電『十日號』線15下渡の1級航廠網行196日まだ前5万でないに共にりず、九日夜春館に遠した原発製料によれて米

金國上院の改選組分を比較すれば

【東京電話】哲選與職用は十一日

米石油輸送船珠江を往復

日ヶあかつきヶにて現上 事務打合の低二週間の独定で十 の機関貞紀氏(護信局庶務課長) 北鮮流派の津村開催に一大派職がが中心となって質現をはかり内地 雅之助は始めてお他の方へ位を

れる名代の美人だとのこと。それ

一層、独動員的でなければなら る氣でお茶を選んだわけではござ。『英雄を云へ、何ん『あら、即娩症ばせ、変性別に思 | ませんわ、オホホ』 お瀧は手を突いてあやまつた。一『それでも、簡節りのせつ、凝り

子袋十時十一分に至り添く判明し刃中間建築の下島最終結果は十日 【ニューヨーク十日问题】 アメリ

カ中門運県の上院改選の景経標果

中西え、院様は今城は毎町の木平「父上は奥にお在でかり」 から雅之助は頭色を和らげて茶 召使ひとは云へ攵の愛妄であつ

が、韓一味に下野を製造すると

僕口が務落しても、 皇軍少し 天地文黃

倉. 村田吶氏有力

アツンヨ場に見る教養の誠。 「大地」の作者にノーベル賞、 伊の助日樹作泉蘇定、聞きフ

○を目指す○○砲隊の整備成る

【特別航空便】

レに腿頭裡に機能候補の第一化が「ちそがパンクトパーに達した。 る、しかしながらこれによって在「ハンクトパー十号回製】十日カ 思ははい間を表明したと願べられ レユース・ロング氏布力 となして自の超続だらんとする意。 カナ 夕駅 日 公使

氏の對立感謝は今なは間滿厭和の「は蔑多の好像脈折は強れぬものと「ランパード氏が有力褪されてゐる「でに至ったが其後も爲れ、中島廟」てゐるので籍感問鰈の解決までに「ヒューム・ロング氏及び上路議員 然に反對を唱へ現狀維持を主張し一任としては前國取職型カナダ代表 め川窓は中島氏の樹越就任にけ佐 | 日公使ブルー氏の酵任を婆妻、| 旧来など見るは早計でぬ山氏をに | 報によれば、カナダ政府は十月

さその武衛和脚を以北中將と定め支院の官職業と並行的に人選を登 はその重要性に選み對

響で江を重墜

通城攻略部隊省境を突破

化せしめることは難くべきであ

選んだ。雅之助は一寸見たばかり 「あいさらか、共成へ促いて行く

京城醫學專門學校教授

. 片岡八· 醫學博士 岡八

束

創製 厌 對支院辦長官

ナル生物學的作用

赤血球「ヘモグロビン」
発度設産生促進作用

網狀織內被細胞系血液凝固促進作用

適

應

甲狀腺機能亢進作用

血液再生促進作用 白血球增多作用

血液學的二血小板上昇作用

+

岁毛ル赤

U

趙の父ケマル・アタチュルク大 は過酸來聲眠病にて病臥中た

と積々重要協議を行ってゐたが、 おいて職介石以下國民政府首論達 おいて職介石以下國民政府首論達

總動員法を繞

政局の危機

ルコ大統領逝去。「てのたが最近に至り再び南際地

ナ六、アタチ 日午前ナー 走荷 しず 鬼・1 は、 アタチ 日午前ナー 走荷 しず 鬼・1 は、 京寺五 政府は安任大統領権威のためナー

包装 00 注 五十計 告告 入入液

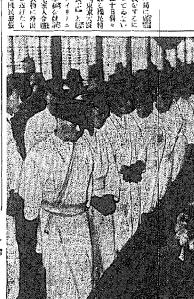
社會式株藥製陽太 元造 

元造製

一、各種創傷ノ治療 一、軟性下間、混合性下疳 一、可化性疾患 一、一種ノ角化性疾患 がレベルト氏薔薇色粃糠疹 紅色音炉、角性盛瘡、井尻 氏病等其他

授問題文部省の意向温硬

鮮女學校の



へ 傾新のにしゆを 男界: け曲 歌線 たる突

組 合

一二五一 町折 話聞

**尿城料理屋** 

元 證 與 町北知マッツ區西阪大 店斯瓦藤近



B28





DE LO

ö

戦はこれからだ 行かう

8 3 曠野のタ

流行歌!

**唄はれてゐる** 大ヒツトノ

するほど がない。 

3/1/1/1

子菜イーボ

唱合の像一



仕川穀物田人 (十日) ●電産 東三、六三・叫、杯一 ○、八七つ石、大英四五一以《私 山 なし

基してある宗典して之れで下げ出 明古に初語し冒先至人れの商財を 明古に初語し冒先至人れの商財を 野の手 対場法貫力の投射一端を並引の手 対場法関力の表別の手 がある。

性期 **多**期 短 株 現 株 理 株 運 **格 港海内** 

**米期** 米正

録的數字を示現

**殖銀系の事業會社の擡頭顯著** 

**亚融界への影響を注** 

らないが然し来共物から云ふとらないが然し来共物が重えかけて小満く変地の資物が随えかけて来た計りであるが何富分の間は現正来の僧環安と云ふ事は見れまい

保上回れも毀り雄つてゐるが地方は原料の初を高く仕入れてゐる關と唯地の前人で今致らうとする者 前日來籾や正米の取引狀態を見る

產地商人賣澁

二の投げ崩しを融金されてゐる

の経用商に続いても強い等の情三 情がなく決発質りせる連りを通り 活がなく決発質りせる連りを通り を対象方面に続ける演奏としては内地で ものと変元に続ける演奏としては内地で 地上方高く変れるため頭性都平や 地上方高く変れるため頭性都平や 地上方高く変れるため頭性都平や 大小文類にしても独立のいた場合 など乃他に発覚りせる海はとし内か たが関ルに関するとも相互のいた。 など乃他に発覚りせる方は伊ヶ崎 水を内他に発覚りせる方は伊ヶ崎 なけれないので質行言に依備関数 である

あと阪地の好勢に當所既意強硬に持合となっ た、と見る質規の質特を喚起せしもののである然と世三間合民は何様があっての本の間と一定ではでは、日本のは「日本のは「日本のである然と世三間合民は何様があり、「日本のは「日本のでは、日本のでは 籾玄米下一巡

は幾何である本最もこの透無部して此位の反落で納りがつくか

と作問み商款を呈し

用目数方の利喰ひ急ぎ 一般に変更が高いました。 現の資物等に対して大 現の資物等に対して大 現の資物等に対して大 現の資物等に対して大 現の資物等に対して大 現の資物等に対して大 現の資物をに対して大 現の資物をに対して大 の場合を は一般ならご。 選まで復 以代は初喰い節の質り流 現れて何力を開止され土

横這人 上寄つて

母 も常三別十二様中三別人造先三別 土強と廃止が生態を発生物を入っ前を は十四数と廃止が生物を入っ前を であつた 11 代・小 往 來 中連場から今朝にかけての損消り は實力の税物が一型制造したのと 変 手座に商収を推掉する事にたった 変 一座に商収を推掉する事にたった 変 一座に商収を推掉する事にとした。

条件は藤両内一服保 |

| 11 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1

武寧縣城を占領

(二里の地點に迫り敵は續々退却。岳州前面に集結を急いでをり、DO特電『十一日發』我が岳州攻黎郡隊は念よ最後的攻槃を開始し

**順庭湖を搖す激戦** 

**迪城占領部隊戰果擴大** 

帝國今明日中に回答

ル氏に希望

博信少佐

頂

改訂版を送る所以地に買ふ處多し茲に戰時日本の護りは

日本の管



東西國大學等·金寶及金寶床 短日區 東州時間 大門000

-町錦區田神京東

特電子一日設置

木だ容認せず

與週

西井元太郎書 工業化學數值計算職 蒋州裕縣 本門日

目丁 **社光新堂**文誠

果して記者の自動車にも

**足景電話 四枚次第一次接影** 战略外十四地万十一月一日到 米穀現在高

米買替

Lm光を浴びて起っ半鳥に日一日と前並の感覚を示してもりますがて市場に登場、歴 倒的な賢れゆきを示してゐ

壓倒的賣れ

延備に歴 学る八月二十七月 児別電話】 監棋省では現下の名 第二回百萬石

ぬ「今日たといまの朝鮮」の百科全書であります。 歌劇材料の集大成であり、他の如何なる資料も追隨をゆるさは、京城日報の誇るニユース網により集められた 斬新な

酣

半島各界戦士の必携の書

説器とされんことを切記いたします。

錢)——本社並に各地支局、本紙販賣店、全鮮主要書四六判千二百ペーチ、定領一團二十錢(送料二十一

すまれる揺抜に部幹シドシドで第次力質

聘招員社

のみあく。よく弦いて、街がない

銀化数量

は鬼下し

77

ひ、御家庭を誰る礎 命保險として御好評 を頂いてをります ともなる。貯蓄的生

7

テ

貯蓄報國の目的に適

片倉生命の保険は、

X音アナナイン

DENEMBER TENEMBER NAMED NAMED

の頭痛り

00

ナ ため ŀζ ATHENA

化国际品种学院 医亲性医院学院 化聚苯基苯甲醛 医阿拉克氏虫 经自然的过去式和过去分词 部 隊

は1段音のよくなるアテナ如年類

和光型

ある。 一般に関いれるに関する。 が対して、 のでは、 ので

四地測量部型行 〒20年27年三十

打論を無ねる

力增進 らゆるペンの 容 Ø JII.

|際の處原始アペートと言った方が

展開するあたり関に伸びた身体のはる皮、黄河のから左右に由は

迫擊砲

全のトーチカが此表演書に版在、 風陸渡附近 OCKは欠

労色は前に天下の稲景である。 東京中韓山殿を修設する **遺画の徹底を挟んで封草面谷山脈** ・ 世られ、過ぐる八月末の鼠野部除

訪れる者は喜んで迎へる

流のない箱根である、山原道村山一堂はさながら頃と温泉と清明、首場

條の黄河 む無てるこ

殷々たる砲撃し

中條山脈を搖がす

純朴な民族に傳はる

ルスピードで通過してあるが、 を開ば対一時間優さにフ 世間はせいんく二、三列車でき

前線を衝くの

近藤特派員發風陸渡陣中にて

待を王德 蒙き若るれ訪

落として、 生命保険 のため」にもなる貯

は最も御賢明な策と を御利用なさること この時に常り 「國の

間事即の産

ため」にもなり

身

別もから緊張を示した。 標準

議会連過當時既にこの事ある もとより、既然も趨勝貝法のるべきものであって、國民は 社

財界の奮起を促す

|戦を過ぎご車は山を撃ち谷間を走して、姚手は支那人では超過ない。スピードで衰退する、スリルの一一楽は毎に正確を極めてゐるとのと

總動法に積極協力せよ

國家機能員法の全面的強能

理観するならば質然来

の統能力は一段と強化されつ

あるから、比別も現践を持の和本的種類は必要のもので 然しながら日本の経済を

神護、片濱一等兵命拾ひ

力しなければなりま して、國策遂行に協 出來得る限り貯蓄を 後の義務であります

完整は 一覧に ハクキン 一覧に ハクキン

大阪基 朱續至600年 一円・一円中

「八十億貯蓄は」銃

宋登二記公告 明賴原東第7明東新魯甲 明朝原金寶子全百八胎 公開阿爾金寶子全百八胎

經過鐵原支廳

并茶舗

喇嘛僧の殺は

北海道外十一府縣分

手官三十二石で前年回期 おける米敦現在高は百七十

いさ下で出申御へ所張出部支社支の寄最

イシ

ヨクネムレ

以即総設の礎は安果た



ひへかる へやなや カイチュウフセグ 411.14

會此內 常城府和泉町一朝前梢卡株子 本社取扱献金 國防献金

◆マネチャー、沢山太一(銀道) ▲マネチヤー、遠竹行派(資本)の項班▲監督、太田城庫(破大

て掘く飛躍されんとする打撃で充みった。皺を皆へば二帯打着とし

の卓球大會

十三日に擧行

實業對學生

· 取職大會 (国歷天) 性期华安宗岛 第十四回夏城党类朋盟封州生职员

資通町京城保育県校調堂で開催す るが開催跳客は左の通り

主能で十三日午前十時より京城

晨村を犯すトラ ムは

を去らせし、腫れ して痛みを止 問題だ。 炎症を散ら 科薬だ。 の減退は由 め充血を去 々しき大 て眼の疲れを 病菌を殺 す新鋭眼 俊の作業能力 と謂ふ。 著々 **に袋問慰** ルイマス 効 主 社会式体 阪大・京東



八院隨意 [蘇經網題] 院主

な話本局三七八番

**颁府明帝时一丁目(本町明治屈頡)** 

病原院

城地方法院

是河南南地/北四三郡地/北原河三郡地/北原河三沙郡三沙西州 他没本化、印角检验单儿 法分社、明和检验单儿 法分社、明和检验率儿 法分社、明和检验率儿 は、一般のでは、これを表現である。 初名徐华九月**刘**曾日尉 华九月忒六日登即

で成日百 くせんせ 中毒性なる。 なく、老人、小兄にも安全で速に否水楽の欠點たる、中非性更に 特長ある最新の暖止め樂です 競作を和げ、心臓を護る咳を止め、痰を切り

五**國八十九錢也** 累計一金八萬三百二十

金五萬一干二十

成百萬川福芸面前引里 入佐一金米岡也

累指一金八萬斌百戏拾

金拾袋萬壹千坑

皇軍慰問金

子一月十一最二

晉圓八拾九錢也 累計一金五萬堂干武拾

覺の豪華版 内地人向きは冬漬ピカク の分址は人により一定せず大根。以上の用館が出来ましたら 鮮キムチ漬け 【下】京城 說信女學使 閱 一丙

た切っておく。 芹で高菜は一寸 位に長さにきり、忠美や大蒜は

のあるところは解る)提さ五六 演け方 大俣はよく混ら姓

をとくのへ (異語に切り程度保)

さに切って太いものは視底が縦 ぎずさに切って太いものは視底が縦 ぎずさに切って太いものは視底が緩 いっぱせて滅をし

・ 備考 (1) 大根の切り方は
・ 定せず人の好みにより多少途
・ ひます
・ 自訳の関語中はこれを連
・ 上にもまだ自訳の関語中はこれを連
・ 上にもまだ自訳の関語中はこれを連
・ 上にもまだ自訳の関語を言さ ・ い彼せて遺をし時のつくのをまち ます たよくとりまぜ類に移しその表面 一ぜてそれに自用経流計を入れて更高が料を大根と一時によくとり追

につめてから三四日位たち大根 につめてから三四日位たち大根 この様 さ大根の表面が少し現はれる紙 この様

があります。個しこれはあまりつた風味を有し珍重がられる事みにより牡鰯を入れいば更に異ないよう牡鰯を入れいば更に異ないカクテキにには人の好 保存する場合には不なまで

は治事さくすれば、概してい事し

トが適田して来ました 金厂の代用にセルロイドの誰、

終るにしたがひ取組して開始を生き合せたものが多い、これは時を

根でとのは、小さく性能してつくのは丈夫ですが、強いこ色の様

う、見分け方は、地色の中に出形

セルロイド智品 見分け万

本本は

たを登山部に残ったカメのなかたな母山で形を整へ丁寧に祝ひらに切って形を整へ丁寧に祝ひらに祝ひまれの親いとこのでき、祖の親いとこのでき、というないのを 冬本ムチの濟方を担、大器)側、生変五十多、年担、大器)側、生変五十多、年担、大器)側、生変五十多、年担、大器)側、生変五十多、 漬け方 本はたるべく小

談

自毛染チュ

さに切っておきます。
さに切っておきます。 に独は一寸位の長さに切り、大川のカメに大根を入れかへし方に完分額額がし入設ったたらに 以上の間影響を大穏の肌のとこ

、他けましたらこれを数

「立献の日今」 2科(五人分) 野菜の煮

促時計算の配言場所など何志へ置

澤施をおい しくする法

これもあずり無理なしたでき方なり職をよくする動機があります。これもあずり無理なしたでき方なのの、一定路に限らず、隣尾でも、めつき

1 (粉) 査 ルーペード・・ / スーパー(粉) 査 ルーペード・・ / スーペード / スーペー / スーペ 4 りその中にトマトソース 一部にちつします、それよ 相井でのばしまして茶込

た党弾し得く場所できょう。 郷勢 (りるづつ廻り込んでおり)りない及びそのもの人様能・光・にしたものを1何に1郷をのり破れしません、県間との (それは大豆を炒つて落りるのも纏むしません、県間との)

にしたものを一個に一躍りにとく

ることです(京境府)

それこそ、ぴつくりするほど競 「らんづつ振り込んでおきますと、

イベンにとかしてこの中 (2) パターを大匙フラ

明なつけて青豆を加へて

中国を三独角に切

て、グターでいためてお はらかくなるまで指言す (5) 最後に臨と胡椒で

モツを入れて一度薄むさせ、すぐ祭汁を加へて味をつけ、毎し際に

についての協議を話してみませう。 れから主人の漁職の登場として造。 は上部にフェルトを観るかペニャーと、教師には様々とし、参与を行り、ことを明ら思って、お話にに権域で対象を存り、というます。 ことを はたりません、教師職職の試に時・ネクネイ貫に、冷慈、下部に下滑 でいるとなり、お話がの歌風をはたりません、教師職職の試に時・ネクネイ貫に、冷慈、下部に下滑 でいるとなり、とも先分の歌風をはたりません、教師職職の試に時・ネクネイ真に、冷慈、下部に下滑 でいるを選びる歌風をはたりません。 は、12000 というない ことも発力の歌風をはたいとして、 2012 というない ことも発力の歌風をはたいとして、 2012 というない ことも発力の歌風をはたいとして、 2012 というない 2012 によって、 2012 によって

男子用衣服产棚

E TO CE

¥ Ф についての独立を話してみませら

たから今日から住宅の部分スタ

今まで住宅一般のことに

北京に便利なものと思います。そ ペニー・ホウスは試話りたし、天井市高に便利なものと思います。そ ペニー・ホウスは試話りたし、天井には《土が落ち

作りつけの洋服箪笥

すから居ながら外を眺められる物

おり飛ど同感で何も別に東立なりしゃってみらしたことにおっしてってみらしたことにおいって今まら解師の

朝鮮の自然と

さんと云上朝 題主張には

情の美しさ 图督府部特局基關原時三郎氏夫人

上面脏

鶏の内臓と骨を買って来て銃災 拵へ方 が、「大ち生理上如何でせうか、又どの位の費用を用しますか(思い、育生) に問し、十七般の男、いたって健康、たまます。 セメンでも充領し、 治療を怠った気、今カロになっ、 治療を怠った気、今カロになっ、

に瞬をつけ、お开に得へることも。日件をとると共にスープにして別 う。 昔は一羽分さればう主流の流になるおいしいうす流を持へませ をする場合も観役の関係上籍れた 永久大日南の銀路にセメント充版

各一本、里芋五切、砂塘、硝、村等、红内即と母、人喜、午麦出来了。

の景色に四季を通じてほんとてくれるやりご冬のは、朝鮮 くら、娘のかどりの田々、秋の もべち、心身の行れをはらつ

> 思まれて必要して、こんなと て語ります、頭師は自然美に ころに住めば自然と人間の心

> > します

さしい気持にふれた心地が致 にはいつも極めして心ます 概の讃譽かたく間の歌いこと 四五人の子供のお母さんには ましたが、このお友誼ももう 鮮の方で超しいお友道があり

この方を通して朝鮮の方

そ) (礼

から確方もお

ことではこざいますが、年長

単風・昔のか

ちかいたやらに担しみが悪い

で衛生的た朗りましたが何となく散場に落 鹽原八重子さん談

々と野田、沼水で即かに煮て飲か」る竹間的充っ二、次にモタを鍛に入れ刻へ競少 必要です、

く見智つて質行したいもののやうなことは思共ら、とし

人間美とも申しませらかり

くかつなら火をとめてそのまるに

里 で得つても此行等の関係製造と呼 のデよりも大谷で ・ 説相りるがあります、ナセ、人 今年はカナダは ・ 説相りるがあります。ナセ、人 今年はカナダは ・ 説相りるがあります。ナセ、人 今年はカナダは ・ のデよりもでは ・ のデよりもできた。 ・ でした、大子を ・ でした。大子を ・ でした。 ・

の樹木から成る野根がおります、ナザレス近傍の丘の上には十萬本 五世陛下の贈られたもので、即位 ☆パレスタイン……ナザレスの森 來す、全身的緊握を泰して全りまれば日常な事の時元分な咀嚼が出 大の鉄路を第丁事は踏を使りませ しれは七年前イギリスのジョージ **丁五周甲の森として知られてる** 世·界·知·禮

一切、一切があれば、之れは小山 職様を楽し後つて身間の設育上多

売極か又は金インレー等の五版が | 砂漠であるなどといふがへは低すにはなりません。故にアマルガム | ☆淡オーストラリアの眞中が全派

▽リンパ腺結核……に 専門治療法のキキノの世界に代る

京城府本町丁一目出土」「日間の一周日日 坂井日 阪井日 屋川 阪井田屋川 阪村 路院 三芸

軽みやが、ドツルランラきったの大害ひ

みな 健康 育児の勝利 元 見 き も は · 肛台式株乳腺原磷

全國デバート窓店ラリ

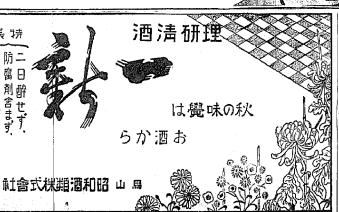


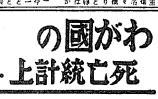
技术部へというのの

Z.

れ、不脱、手足のし 下げ安容な曖昧際にるのである。甌つて 危険から

中国の が一个一个 みられたい。 ない できる は は な を 様 な を 様 な を 様 長特 下書驅憶新賴 新興 | 宿敗せず、 からコロダイン





を無理する映画 一個話はおしなべて 他とする。明うしは すればする問題語 すればする問題語 とするの、現む となるの、現む となるの、現む

(では、)によって、)によって、)の主義はのは私に合う。 を中のこ婚人服 ミヤコ・婦人服 後店 ・マース・大の番店 ・マース・大の番店

を手代を前に 高僧に入 ・ 東線府南大川 画明 と 五 ・ 京線府南大川 画明 と 五 ・ 京線府南大川 画明 と 五 ・ 京線府南大川 画明 と 五 

歌るしく、 歌るしく、 歌歌をしく、 歌歌を

らぬ!!

東語三二・三四番 (1) を (

皮膚性病科 淡尿性病科

医学博士 渡遍 晋 電本894

身 的 用人形及路道是1公 新日中,用图像本油一丁耳 新日中,用人形及路道是1公

骨に限り特に一間にて掲載すり会は前納の事件が開発して出版。

京日案内

型化平角は「大神文は古社1事に ある五年本名城湾の時間下最適有 ある五年本名城湾の時間下最適有

分泌や運動機能の異常を整へる等病源、 治療薬アイフは唯軍に胃腸の痛みを速かに 止めるだけでなく、胃腸内壁の弛緩を癒り 一重に働く作用があります。

ば恐るべき慢性病に轉じたり、潰瘍、癌種をさへ誘發する危険が伴ひます。鳴りがして空腹時には痛む、下痢、便秘に困るなごいふのも皆これが爲で、

消退して機能の恢復を速めますから、かうした無理や、不攝生に基因する胃腑障害を噯氣、嘔吐、胃痛、腹痛、下痢、便秘、嘔つき、消化不良、食慾不振等の諸症狀をもの有毒物質を吸着して、體外に排泄する等廣汎な病原治療を營み、併せて、胸やけ、癒し、粘膜を强め、弛緩を引緊め、分泌や蠕動機能の異狀を整へるこゝもに、廳管内 アイフには病原、對症二重の作用があり、主薬が胃腸内壁の病變部に沈着して炎症を療ご、周到な攝生により、症魔の信宜を充力して、 療さ、周到な攝生により、病魔の侵蝕を極力防止することが大切であります。治療薬ですから、かうした徴候のある場合には、先つ治療薬アイフを服用して、適正な治

可之西各本清監察市阪大 商和順 舖本質發 園園大図三四五部 原理 (家) 至000・五00二の 的专为可印度 医冠本市民原 店 支

のむ…ふさる!素晴し い元氣が出るこの健胃整腸力

> 全国到る所の有名藝店にあり 4

呈軍の正義に外人記者≧威服

來月十五日から全 國

精神作與週間第六

# 庭内の脳理監戒と併せて『銃後の家に濁りな 八十名、天々知徳、敬老曾を楓子外、その仲で府内、六分名、天々知徳、帝永統即田弘財では唐内の八十四部職学部、帝永統即田弘財では唐内の八十四時内、六分権周の関見于八百名に映職を勝いた。

の放練查閱城大豫科生

(田安局報語) 京城南人門通上

教験を経し十一日

て對策に乘



敬老の催し

なねつに

タリミ 化数4

レツテルで用柱冠の偽







大が明和に正か、オール設物に出て、報誌長篇説物の表もい平次は、戦時の政治である。 本人、大が明和に正立っては、、報話長篇説物の新記録を をいたすり、早くも平次は、戦時ののようい平次を戦時であると云ふ人もある。 ですり、中であると云ふ人もある。 ですり、中であると云ふ人もある。 ですり、中であると云ふ人もある。 ですり、中であると云ふ人もある。 ですり、中であると云ふ人もある。 ですり、中であると云ふ人もある。 ですり、中でもがでいる。 でなかないかも知れて、で次的概察に主したなら、恐らして でなってある。 で、本文的概容に出てしたなら、恐らし、 で、本文的概容に出てしたなら、恐らし、 で、本文的概容に出てしたなら、恐らし、 で、本文的概容に出てしたなら、恐らし、 で、本文的概容に出てしたなら、恐らし、 で、本文的概容に出てとないでする。 で、本文的概容に出てとないである。 で、本文的概容に出てとないである。 で、本文的概容に出てとないである。 で、本文的概容に出てとないでもある。 で、本文的概容に出てとないです。 で、本文的概容に出てとないです。 で、本文的概容に出てとないです。 で、本文的概容に出てとないで、このは、 で、本文的概容に出てとないで、 で、本文的概容には、まさにコ解語はないでうである。 で、本文的概容には、まさにコ解語はないでうである。 で、本文的概容には、まさにコ解語はないです。 「他とのものを叩くして、まさにコ解語はないでうである。」 「他とのものをでは、まさにコ解語はないでうである。」 「他とのものをでは、まさにコ解語はないです。」 「他とのものをでは、まさにコ解語は、一般を表で、一般

鑑廣州出張所

社會式採坚天御 窗帘板大

一日まで政府圏かかりで全 及べて、週間中に銀行、郵便側側側に帰る来身す五日 著入十幅のゴールに飛じ込むの連路と示するとする「器 物に大説者では、この期間出の連路と示するとする「器 物源は影響で左の如くまえに

十三日 (日) 畫一時·夜六時二回·府民舘

京日小學生新聞

晴れの入選歌發表

戦を紙芝居に 崔通譯生の

辯護士間

対象が一般である。 小門町

丸病院 院 巴 髙

尿城府



平七三〇二番 城

法人登記公告

绿旗 瞬 瞬 形 医 院 題· 領江本二郎

機井野丁二六六

形平次捕物百話

